

社会福祉法人 紅葉の会

# 白糸さくらんぼ保育園



## ～保育理念～

乳幼児期は人格形成の基礎を作る時期であり、人から人間へと変わっていく大切な時期でもあります。

その時期をより豊かなものにして欲しいと願い、

「3つの自然先生」を念頭に置いた保育をしています。

- ①自然（自然界の中で遊びぬき、多くの体験をしていく
- ②自然で育つ力（自己の内なる自然）、年齢に即して育つ力を大切にし、その発達をとらえた保育をしていく
- ③大人から子供へと受け継がれていく営みの中で、人間として豊かな大人から良いことをたくさん学んでいく

そのために、5つの具体的な目標に沿った保育を実践しています。

## ～1日の流れ～

7：00 開園

8：30 各クラス別保育

（散歩・リズム運動・園庭遊びなど）

11：00 昼食（0歳児は個別対応です）

13：00 午睡

15：30 おやつ

16：00 午後の遊び（園庭・描画・粘土・リズムなど）

18：00 延長保育開始（合同保育）

20：00 閉園



楽しい  
保育園



個々の発達を  
大切に



経験の中で  
学ぶ



みんなで  
育ちあう



芸術性が高く

伝統ある

文化の継承



石川県の指定無形文化財に指定されている【御陣乗太鼓(ごじんじょうだいこ)】

その由来は、天正5年、上杉謙信が輪島の名舟村へ押し寄せ、武器を持たない

村人たちは木の皮で面を、海藻で髪の毛を作り、太鼓を激しく打ち鳴らして、攻め

入る上杉勢を退散させたことが始まりとされています。毎年、名舟の祭りではこの

戦いに勝利できた事に感謝し、氏神へ捧げる習わしとなって現在まで伝えられて

います。

### <御陣乗太鼓とは>

また、毎年卒園式では、子ども達が和紙を

ちぎり何枚も重ね貼り、思い思いの表情の

お面を作り和太鼓を打ち鳴らします



# 日々の保育



# 年長の取り組み



## 子育て支援

### 地域の親子の交流に、新米ママの味方「子育て広場」

地域の親子の交流・家庭で子育てをしているママの子育て支援を目的に、2階の一角に専用スペースを作りました。

初めての子育てで不安いっぱい、どこへも行けない、話し相手や遊び相手がほしい等、保護者のニーズに応じて「子育て広場」専属の職員が楽しい催し物を計画し、取り組んでいます。



#### 年齢別体験保育

保育園での子ども達はどんな生活をしているのかな？  
お子さまと一緒にクラスの中に入って体験してみませんか？

#### 育児相談

電話での受付  
(月) ~ (金)  
9:00 ~ 17:00

#### こどもまつり

(11月第2週土曜日)  
近隣の方どなたでも  
ご参加いただけます！

## ～白糸さくらんぼ保育園が大切にしていること～

### なぜ「紙おむつ」は使用しないの？

基本的に「気持ち悪い」ということがわからないと「気持ち良い」という感覚が育たないと考えています。「何回してもさらさら」というキャッチフレーズの、開発された紙おむつでは全く濡れた感覚がわからず、おしっこがでて平気という感覚ができてしまいます。

住宅事情から、家庭ではなかなかできないと思いますが、パンツで過ごすことによっておしっこが「でたあ〜」ということがわかり、じい〜っと立ち止まったり気持ち悪いということを大人に知らせたりすることは、トイレトレーニングを一生懸命するよりも、「排泄の自立」には早道と考えています。



### トイレトレーニングは？

大人も排尿間隔がそれぞれ違うように子どもも排尿間隔は一人ひとり違います。2歳児クラス後半くらいから活動の前（例えば散歩・リズム・午睡）に一人ひとりに声をかけることはしていきますが、「〇〇時になりました。さあみんなトイレ行くよ〜」というような声かけはしていません。

「トイレ行きたい人行って来てね。」というような、行きたい子だけ促すような声かけを行っています。

### おもちゃへのこだわりは？

第一に大切に考えていることは、化学製品を使わない自然のものであり、遊ぶ子どもの感性で色々と変化できるもの。

つまり、自然なものというのは、木製や布製の玩具。赤ちゃんは、何でも口に入れて確かめます。だからこそ、安全なものでありたいと思います。木のあたたかなぬくもりとやさしい感触は、赤ちゃんの玩具としては一番優れていると考えています。

次に、色々と変化できるものというのは、例えば水、砂、土での遊びは、二度と同じものが作れないと言っても過言ではないほど、作る子の手によってたくさんの形に変化できるのです。高価なプラスチックのおもちゃを与えても、遊んだのはほんの一瞬だけという経験がありませんか？水・砂・土での遊びは、飽きるということがありません。毎回違った遊びができるからなのです。

現代の玩具は化学製品のものが主流で、描かれている絵は多くがテレビなどのアニメキャラクターです。色彩もどぎついもの、ぴかぴか光るもの多くて、やわらかい子どもたちの脳には刺激的です。またアニメキャラクターは、子どもたちの気持ちを実世界から離して、感情や表現を仮想的にしていきます。描く絵も輪郭にとらわれ、絵の内容は貧しくなっています。

感受性が強い乳幼児期は、仮想のものや化学製品でなく、自然の素材や本物の世界に触

れて、現実に基づく豊かな感性や知性を身に付けていってほしいと思うのです。

### なぜ毎日散歩に行くの？

白糸さくらんぼ保育園の保育は、机の上で学ぶ保育ではありません。信頼できる大人とだいすきな仲間と一緒に、自然の中で何かを感じたり・発見したり・確認したり（見る・聞く・触れる・嗅ぐ・味わう）の保育です。せっかく四季のある日本で生活しているのだから、季節感を存分に味わえる自然の中で思いっきり体を動かし、友だちと共感し、経験の中から人間の土台となる力「生きる」力を育てていきたいと考えています。綺麗なものを綺麗と感じ、可哀想なものに涙を浮かべ、あれ？と思ったことに納得いくまで興味を示す、そんな豊かな心を育てていくには、毎日の散歩はどんなおもちゃよりも素晴らしいものなのです。



### なぜ、水・砂・泥遊びを大切にするの？

水・砂・泥は、自分の働きかけによって様々な形に変化します。泥を丸めてお団子を作ったり、砂で山を造りトンネルを掘ったり、水で池を作ったりと自分が「こうしたい」と思ったままに、水・砂・泥は変化してくれます。

また、他の遊びと違って「うまくできない」「間違えた」というような失敗はありません。自分がしたいようにすればいいのだから、思いっきり気持ちを開放して楽しむことができます。気持ちが解放され、思い切り遊んだあとは、遊びきったという満足感で気持ちよく次の場面に切り替えられるのです。

乳幼児期は、人格形成の基礎となる時期。その大切な時代に、命令されて何かをするのではなく、うんと気持ちを開放させ、自分のしたいように遊ぶことはとても重要なことです。そんな経験が、しっかりとした自我や揺るぎない自信をつけてくれると考えています。

### なぜ、裸足で過ごすの？

第一の理由は、「突き出た脳」と言われる足に、十分な刺激を与えたいという考えからです。歩くとき、まずかかとが着地し、足を外から内にあおる「あおりの動作」から、足指を使って蹴りだして前に進みますが、靴を履いた時よりも裸足のほうが、足指を踏ん張り、十分に使うことができるのです。そして足指をたくさん使うことで、脳の発達を促されるのです。

つまり、足をたくさん使う（特に足の親指）ことは、脳に直接刺激が与えられ、脳の発達に良い効果があるということです。

また土踏まずは、歩いたり跳び上がる動作をするときに大切な足のばねになる部分。土踏まずを形作っている筋肉を強くするには、裸足で凹凸のある地面や傾斜のあるところで遊び、運動するのが一番良いと言われています。運動機能を左右する土踏まずを乳幼児期に形成するために、保育園内や安全な場所では、裸足になって過ごしています。

もうひとつ。赤ちゃんは、自分の力で滑り台や階段を上り下りするときに、足の親指に

神経を集中させ、足の親指で一つ一つ段差を確認しながら上り下りをします。この動作はとても大切で、先にも述べたように親指を使うことで、脳にしっかりと刺激を与えています。そんな大切な動作を、靴や靴下で妨げられることのないようにしたいと考えています。

### なぜ、かわいい壁面がないの？

壁面装飾は、漫画的で非現実的なものも少なくありません。さくらんぼでは、やはり本物趣向でいきたいのです。漫画的な犬や猫を日常的に目にするのではなく、散歩先で、本物の犬や猫を見て子どもたち一人ひとりがその子の感性で感じてほしいと思っています。

また、壁面装飾によって、大人の固定観念で形を決めてしまうことを避けたいという想いもあります。例えば動物園に行つて実物の動物を観察した時、動物の横向きに関心を持つ子、後ろ向きに関心を持つ子、食べている様子、寝ている様子、子ども一人ひとりで感じ方が違うと考えています。その一人ひとりの感性を大切にすることも、非現実的な壁面画は必要ないと考えています。

にんじんや大根も壁の上ではなく、畑で見てほしいと思います。実際、土の中から野菜を掘り起こしたり、泥のついた野菜を洗ったり、保育園の畑で育てている野菜の成長を見たり、そういう経験が大切だと思っています。

OBの方の協力もあって、毎年行っている大根掘りやじゃがいも掘り、いちご摘みなどは、目だけでなく肌でも感じられる貴重な経験なのです。

### なぜキャラクターものはダメなの？

キャラクターの洋服やパンツは、購入するときになるべくなら避けてほしいと考えています。いただき物や兄弟のお下がりなどは、少々ならしょうがないとも思っています。

一つの例ですが、テレビのヒーローものの洋服を着て登園した子。野川公園という自然いっぱいの場所に大好きな仲間と一緒に散歩に出たものの、朝から洋服に〇〇レンジャーがいるばかりに、すっかりその主人公になりきり、棒を見つけては「エイ・ヤー！」と振り回し、悪気はなくても友だちをぶったり蹴ったり、自然の中で遊びきる環境になるまで時間がかかるということがよくあります。

また、ミッキーマウスやキティちゃんなどの服も、大事な服と言うことで大好きな砂遊びをしなかったり、汚れを気にして友だちとトラブルが起きたり、「そんなことで？」と思うかもしれませんが、子どもの心や気持ちは、そんな些細なことで遊びまで影響があるので

私たちは日頃から、「テレビに負けない保育をしよう」と常に言っていますが、これだけいろいろなものが氾濫している日常では、なかなか難しくなっているのも事実です。ただ、保育園では「元気に楽しく友達と一緒に遊んでほしい」「色々な貴重な経験をしてほしい」と願う保護者の方々の気持ちと、私たちも「保育園でしかできない経験を沢山して、一日を終えたときに『あ～！楽しかった』と言ってもらえるような保育をしたい」という強い思



いの中では、キャラクターは必要ないものだと考えています。

### なぜ、ロールマットをするの？

(ロールマットとは、マットを丸めたもの。うつ伏せ及び仰向けに寝て、保育士よりマッサージを受けます。)

ロールマットは、基本的に朝に行います。ロールマットを一人ひとり受けることで、今日も元気かな？など皮膚の状態や顔色を見て視診を行います。

また、登園直後にマッサージを受けることで、身体が脱力して血流が良くなり、特に寒い冬は体が温まって活動量が増えたり、怪我の防止などにも役立つと考えています。

また、マッサージしながら「肩や背中では脱力しているか？」「足の長さは左右同じか？」などを確認しながら、緊張している部分を丁寧にさすって子どもの体を確認していきます。十分に脱力することで、こわばった筋肉なやかになります。

また、もう一つの効果は、最後にマットにおろす時に下に付いた手のひらがしっかりと開いているか確認することで、「パラシュート反射」といって人間が体を守るために必要な反射を引き出します。本来、転んだ時に大きな怪我をしないように、手をつく反射があるのですが、近年の子どもたちは転んでも手が出ない子が多いと言われています。転ばないようにと必要に状に大人が守ってしまうより、いざというときにしっかりと手をつき自分の体を守ることができるようにしたいと考えています。

「しなやかな体を作る」「転んだ時にしっかりと手が出る」という身体作りのために保育でロールマットを取り入れています。



### なぜ「せんせい」とよばせないの？

私たち職員は、ものを上から教える立場ではなく、いつでもどこでも子どもたちと同じ目線でいられるよう努力しています。いわば、先生ではなく仲間の中の大將的存在と一緒に遊び共感しながらたくさんの経験を子どもたちに伝えていきたいのです。

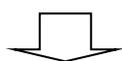
先生という遠い存在でなく、もっともっと近い位置で子どもたちと関わるには、言葉のひびきからも言葉の意味からも「せんせい」ではないと考えているからです。

保護者の方々にとっては、先生を呼び捨てにすることに違和感を持たれる方も多いかと思いますが、呼び方うんぬんよりいかに一人ひとりの子どもに寄り添っているのかの方が大切だと思っていますし、どんな時でも、子どもの目線にたって子どもにとってどうなのか？考えられる立場でいたいと思っています。

## 《ご家庭にて用意していただくもの》

「子どもたちの使用するもの」の検討ポイントとして…

- ☆年齢や発達に即したものが
- ☆使いやすさ
- ☆身体・心・環境にやさしいものが
- ☆安全面で大丈夫か



★子どもが自分で使いこなせるか

★綿素材・シンプルな作り・キャラクターのついてない柄

### 《衣類》

#### 全クラス

- ・自分で脱いだり着たりするため「少し大きめ」のものが良いです
- ・肌に刺激のない綿素材のもの（化繊は静電気がおきます）
- ・汚れてもよい物（泥汚れ）
- ・ズボンはウエストがゴム式の物



泥んこ遊び、斜面遊び等など、子どもたちはお洋服が真っ黒になるまで遊びます。  
汚れや泥染みを気にしない衣類をご用意下さい。お下がりがなど、古着を活用しましょう！

危険ですのでご遠慮ください

×フードのついた上着   ×チャックやヒモ、ホック式のズボン



『リズム』や『ロールマット』では半袖半ズボンを使用します。

冬でも毎日ご用意下さい。

動きやすいようにシンプルなデザインで伸縮性のあるものをご用意下さい。



## 《パンツ》

全クラス



- ・自分で寝返りをしてうつ伏せで遊べるようになったら、綿パンツで過ごします
- ・ウンチ落ちるのを防ぐために、足のところにゴムの入った

「女の子用の綿パンツ」を使用します

- ・トイレでウンチが出来るようになった頃から、男の子は「男の子用のパンツ」に切り替えて構いません

### 布パンツで過ごすことへのこだわり

うれしい・楽しい・悲しい等々、快・不快の感情を持つことは生き活きと生活する上でとても大切です。人間が本来持っている快・不快の感覚を自然と引き出します。

おしっこが出てひんやりとする感覚を肌でしっかりと感じ、濡れた「不快」を経験します。

その不快の感情を身近にいる大人に受け止められ、一緒に着替えをすることで「快」の状態になるのです。

この経験を繰り返すことで子ども達自身が快と不快を知って行きます。

自分の快・不快を知ることで、他人の快・不快にも気が付ける心を目指します。

パンツで過ごすことで動きやすくなり活動を十分に保障します。

着脱もしやすい布パンツは「自分でやりたい」という気持ちを邪魔しません。

## 《食事用エプロン》

0.1歳児 (手づかみ食べを主とするめじろぐみの前半まで使用)



### 自分で食事のしたくをしていく「はじめのいっぽ」

エプロンを取りに行き身につけることで

自分自身で食事へと気持ちを向けていきます。

- ・肌に優しく、自分で取り外しの出来るタオルエプロンを使用  
(首にひっかかるなどの安全面を考慮して、必ず平ゴムを使用)

作り方 ★40cm×35cm位の綿タオル上部を4cmほど

折ってから、横一直線に縫う

★30cm位の平ゴムを通して、結んで出来上がり！！



## 《パジャマ》

### 0歳児

・誕生日前後で午前寝がなくなったら午睡へと気持ちを向けていけるよう着用します

### 全クラス

- ・前開きのボタンパジャマを使用
- ・小さいクラスは大きめのボタンがやりやすい



### 『指は突き出た大脳』

大脳においては、指先を動かす機能が占める領域が圧倒的に多いと言われています。つまり指先を使うことで脳が活性化されるということです。

生活や遊びの中でも指先を使うことを意図的に取り入れています。パジャマのボタンかけもその一つです。

### ※パジャマ袋は、首にヒモをかけたり振り回したりと危険を伴うために使用しません

- 0, 1 歳・・・オムツセットの中にパジャマを入れて、衣類カゴの横に置く
- 2～4 歳・・・パンツの中にパジャマを入れて、衣類カゴに入れる
- 5 歳・・・風呂敷に包んで、衣類カゴに入れる  
(お子さんが自分で準備していけるように、関わってあげてください)

## 《靴》

### 足の指を使うことが大脳への刺激となる！！

靴を履いている時でも足の指をしっかり使えるよう基本は裸足です。  
足の裏から大地の暖かさ冷たさや、自然のでこぼこや芝生の柔らかさなどを感じ取れるようにします。

### 0.1歳児

- ・ハイハイやよちよち歩きの時期は不要（季節によっては靴下を使用）
- ・しっかりと歩けるようになったら、ソフトタイプの靴から履いてみます

### 全クラス

- 自分で脱ぎ履き出来るよう、マジックテープ式で履き口が大きく開くもの
- 走っても脱げにくいマジックテープでしっかり止められるもの

- ×光らせるために電池の入ってるものは、誤飲の危険性があるので不可
- ×スリッポン式は散歩時の長距離歩行に向きません

※週末には必ず持ち帰り、必ず洗いましょう！



## 《上着》

### 全クラス

- ・冬の寒い日に使用（薄手のもの）
- ・散歩先で遊ぶため、汚れてもよい物
- ・小さい子は、ベストタイプだと腕が自由に動くので遊びやすい

雪の日はジャンパーのほかに  
長靴やスノーブーツ・手袋（防水タイプ）  
毛糸の帽子を持ってきて下さい！  
スキーウェアでも構いません  
雪遊びを楽しみます



## 《リュックサック》

### 2歳児

- ・体にあった大きさ、シンプルなデザイン
- ・自分で開けて物の出し入れが出来るよう、大きく口が開く物
- ・毎日使用するノートや衣類、タオルや汚れ物を入れて背負います
- ・遠足時には、お弁当・着替えを入れて背負い、自分で出し入れします



### 3～5歳児

- ・体にあった大きさ、シンプルなデザイン
- ・自分で開けて物の出し入れが出来るように大きく口が開く物で、毎日ノートや着替えを入れて登園、降園します
- ・遠足の時には、お弁当・水筒・着替え・タオル・シートを入れて背負い、自分で出し入れします

### 「自分のことは自分で」

園で過ごす日々の生活の中では、子ども達が主体となり自分たちの生活を  
進めていくことを大切にしています。乳児クラスの頃から、大人のすることを真似て、  
一緒に遊びや食事の支度をしてみようとします。

大人が先回りして準備してしまうのではなく、子ども達自身が自分たちの生活に  
興味・関心を持ち、意欲的に生活しようとする心を育てます。

毎日必要なものをリュックに入れて背負ってくることが  
「自分のことは自分で」の気持ちに繋がります。

## 《お弁当箱》

### 2歳児

- ・自分で開け閉めできる物(2段式は難しい)
- ・お弁当袋はヒモで引っ張る巾着タイプ
- ・手拭用のおしぼりは、ジッパーやビニール袋に入れる(容器は難しい)
- ・お弁当箱、箸、スプーン、フォーク、おしぼりタオル、袋類全てに必ず名前を記入する



タッパータイプは  
開け閉めしやすい

巾着タイプの  
お弁当袋



### 3~5歳児

- ・自分で開け閉めできる物
- ・自分で出来るのであれば、2段式のお弁当箱や縛るタイプの包みに切り替えていただいて構いません

## 《水筒》

### 3~5歳児

- ・500ml程度
- ・中身は水かお茶のみ
- ・自分で開閉出来るようになったら、コップ式でOK!

必要に応じて園からも  
水やお茶は持っていきます



## 《シート》

### 3~5歳児

- ・自分でリュックサックから出し入れしたり、広げたりたたんだりできる大きさ
- ・一人分で構わないので、80cm×120cm以下のサイズが適当(百円均一などで購入できます)

## 《園外保育・お泊り保育について》

- ・どの「物」も一人で使える物か事前にお子さんと一緒に試してみてください
- ・どの企画にも『目的』があります 例えば、自然の中での体験を仲間と共感するなど……

★体験したことや保護者の方の手作りお弁当の話より、お弁当箱やシートのキャラクターの絵に固執して、自慢ばかりが会話になってしまいます

(例)遠足後に何が楽しかったかを聞くと 「ミッキーのお弁当箱！」

(例)〇〇レンジャーのシートに釘付けでお弁当が食べられない ……など

※ キャラクターのないシンプルな物を用意して下さい！

## 《プール用品》

### 全クラス(夏期のみ)

- ・水着
- ・ラッシュガード ※紫外線予防のため、水着の上に着用します
- ・浴用タオル
- ・ラップタオル(4,5歳)  
※週末に水着は持ち帰り、洗濯をお願いします(週末以外は園で洗濯します)  
※タオルは毎日、交換して下さい

### 4.5歳児(ミーズプール)

- ・プールバッグ(エコバッグ)
- ・ビニール袋(浴用タオルを入れて)
- ・スイミング用の帽子
- ・ラッシュガード
- ・水着 ※ 出発時に園で着替えてから行きます
- ・ラップタオル

## 《シーツ》

### 全クラス

- ・午睡用の布団は保育園で用意し、個人用として使用します
- ・敷布団のみ、シーツを各ご家庭でご用意下さい  
サイズ……たて130cm×横90cm  
(目安です)



週末には持ち帰り、洗濯して下さい  
替えのカバーがあると便利です

幼児クラスになると、週末には  
自分たちではずし、たたんで持ち帰ります  
少し大きめサイズやホック、チャックです  
と

## 《タオルケット・毛布》

### 全クラス

- ・温かい時期は、綿素材のタオルケット(バスタオルのサイズでOK)
- ・寒い時期は、綿毛布(子供サイズのもの)

綿以外の毛布は静電気が発生し、  
お子さんの身体には好ましくないため、使用する際は  
必ず毛布カバーを付けてください

※真冬の寒い時期は、園用の掛け布団を使用しますで、大きすぎるものや分厚い物は必要ありません

## 《その他》

### エコバック

日々、着替えた衣類やタオルを入れる袋として防水エコバックの使用を推奨しています。  
毎日ビニール袋を使い捨てせず、エコバックを洗濯し干して使用することをお勧めしています。  
濡れた衣類を入れますので、防水加工のものをご用意ください。

### 子どもは遊ぶことが仕事です

何も気にせず自由に遊ぶのはこの乳幼児の時代だけで、  
なりふり構わずに遊び込む力が今後の意欲や生きる力にも  
繋がっていきます。

どろんこ汚れの衣類や布パンツのお洗濯物が多くなりますが、  
子ども達の成長・発達の為に、

どうかご理解・ご協力をお願い致します。



### 靴下

基本的には日常生活は裸足ですので、使用しません。園外保育・お泊まり保育など長距離歩く時や、  
雪遊びする際など、靴ずれ防止や寒さ対策として使用することがあります。

### お泊まり保育(年長5歳児)

ご家族の方が使用しているボストンバッグなど、大きなバッグを使用します。1泊2日分の衣類が入るもので  
あれば、現在ご自宅にあるものを使用していただき、新しい物を購入する必要はありません。  
詳細については、お泊まり保育説明会としおりにてお知らせ致します。

#### <秋のお泊まり>

日頃の園生活で使用する着替え程度(1泊2日)

#### <冬のお泊まり>

雪遊びをするため、その衣類と着替え(1泊2日)

スキーウェア・スノーブーツ・毛糸の帽子・スキー用防水手袋・厚手の靴下  
長袖・長ズボン・半袖・靴下3~4組必要

※その年の天候や体調により、予定を変更する場合があります。

また、下見を直前に行い判断した上で保護者の皆様には説明会を行いますので、お知らせが遅れる場合  
がありますが、ご了承下さい。

※「お泊り保育説明会」にて詳しい内容や持ち物についてもお知らせいたします

## 《1日の必要量》

個人差があるためあくまでも目安です

洗濯の乾き具合や個々の体調などを考慮してご用意下さい

	3～9ヶ月	10～12ヶ月	1歳～	2歳クラス	3歳クラス	4歳クラス	5歳クラス
布おむつ	10～15	6	5	1～2			
おむつカバー	4	2	2				
パンツ (寝返りを打てるようになったら)	10	10～15	10	7	7	5	5
風呂敷						1(後半使用)	1
半袖類(Tシャツ)	10	7	7	5	5	3	3
長袖類(薄手の長袖)	5	5	5	5	5	3	3
トレーナー類	5	3	3	2	2	2	2
ズボン類 (必ず半ズボンを含む)	10～15	10～15	10	7	7	5	5
食事用エプロン	3	3	2				
パジャマ		1	1	1	1	1	1
浴用タオル	3	3	2	2	2	2	2
リュックサック				1	1	1	1
布団カバー(敷布団用)	1	1	1	1	1	1	1
毛布orタオルケット	1	1	1	1	1	1	1
連絡帳	1	1	1	1	1	1	1
帽子	1	1	1	1	1	1	1
エコバック	1	1	1	1	1	1	1
水筒					1	1	1

※連絡帳は、園にて用意致します

※園からの貸し出し衣類や布おむつは、洗濯後、必ず返却をお願いします



## 社会福祉法人 紅葉の会 白糸さくらんぼ保育園

所在地 〒183-0011 府中市白糸台3-36-2

電話 042-367-4610 / FAX 042-367-4609

HPアドレス <http://shiraito.momiji-no-kai.jp/>

QRコード



\*交通機関\*

西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩10分

京王線「武蔵野台」駅下車徒歩15分